

1年 美術 シラバス

1 美術科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を養う。

2 教科における重点目標等

- (1) 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表せるようになる。
- (2) 豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めよう。
- (3) 美術の想像活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにしよう。
- (4) 鑑賞会やカードにおいて、根拠を持って（美術の言葉を使って）発言し、話し合い、その作品の良さを味わおう。

3 学力を向上させる方法

- (1) 計画を立てて段取りを考えよう。
例えば、この作品は4時間で仕上げようという場合、今日はここまでやろう、来週はあそこまでやろうと考えながら制作しましょう。
- (2) 規律ある態度を身に付けよう。
「準備・後片づけをしっかりと行う」「忘れ物をしない」
提出物や持ち物を準備することは制作をスムーズにし、段取りよく作業が出来ます。
- (3) 最後までやり通す力を身に付けよう。
作品を完成させることを通して成就感を味わうことができます。何事においても最後までやり通す力はとても大切です。一生懸命に自分らしい表現を追究しましょう。
- (4) 感性を養おう（材料を集めておこう）。
身の回りの物に関心を持ち、諸感で、美しいもの、面白いものを意識し、普段から、制作に使えるような材料を集めておきましょう。（様々な廃材、きれいな紙、毛糸、布 など）

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて表現方法を工夫して表している。	アイデアスケッチ、プリント、作品、制作の様子等
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げようとしていたりしている。	アイデアスケッチ、プリント、作品、完成度、制作の様子、授業中の観察、鑑賞プリント等
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	出席状況、授業中の観察、提出物、忘れ物、鑑賞プリント等

5 家庭学習の仕方

- (1)授業時間で必要な資料を自主的に用意しておきましょう。
- (2)アイデアスケッチや下描きのための構想をしておくとい良いでしょう。
- (3)手先を器用に思う通りに動かせるようになるには、好きなイラストを描いてみる、空き箱を分解してまた組み立てるなど、とにかく自分で手を動かすことが大切です。
- (4)休日に美術館に行く、ネットで検索するなどいろいろなジャンルの芸術作品を鑑賞してみましょう。

6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1 学期	<p>オリエンテーション</p> <p>いろいろな色を創ろう</p> <p>春の陽射しを感じよう -原市中の風景を切り取ろう- (風景スケッチ)</p> <p>色・いろいろ～ミニ平面構成～</p>	<p>○今後の学習活動を充実したものにするために、学習ルールや美術室の利用の仕方、持ち物などを学びます。</p> <p>○自ら創った色で文様を描きます。何かに見立てたり、全体のイメージで捉えたりして、美しく楽しい、不思議な文様を心豊かに表現します。水彩絵の具の生かし方も学びます。</p> <p>○見慣れた情景の気になる場所やものを見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫して絵で表現します。鑑賞会で互いのよさや工夫しているところを話し合います。</p> <p>○色の性質について学び、アクリル絵の具の色づくり、塗り方、生かし方などを身に付けます。自分のマークを考えて画面にレイアウトし、学んだ色の知識を生かした配色を考えてミニサイズの平面構成を制作します。</p>
2 学期	<p>色・いろいろ ～ミニ平面構成～ 屏風、美のしかけ</p> <p>オリジナル下敷きをつくろう～モダンテクニックを生かして～</p> <p>文字を描く～レタリングに挑戦！～</p> <p>ここは○○です 素敵なドアップレートを作ろう</p>	<p>1 学期のつづき</p> <p>○浮日本の文化遺産である屏風などから、よさや美しさなどを感じ取り、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げます。</p> <p>○主題に応じて絵の具を垂らしたり、偶然生まれる形や色彩を楽しんだりするなど、さまざまなモダンテクニックを使い工夫して絵で表現します。それらの技法や学んだ知識を生かしてA4 サイズのオリジナル下敷きを制作します。</p> <p>○明朝体・ゴシック体を学び技能を身に付けます。</p> <p>○学んだレタリングや色の知識、技法などを組み合わせて、部屋に入るのが楽しくなるようなドアップレートを制作します。材料の特徴を考え、見やすく、分かりやすく、丈夫なデザインを考えて制作します。</p>
3 学期	いたずら造形	○「本物ではないの?!」と思われるぐらいモチーフをよく観察し、粘土や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表現する力を身に付けます。